

お得意先様各位

天然木製品のバラ販売における「色・柄」合わせについて

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は「BIDOOR（ビドール）」製品に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて近年、天然木製品のバラ販売における「色・柄」合わせのご注文が多くなってまいりました。本来、天然木製品は色の濃淡や木目柄には製造時に個体差が発生し、同ロットであっても合わせることは困難です。また、色や柄が合っているかどうかは、見る人の主観によるところが多く、具体的な基準を定めることができません。さらに、近年ではたとえ同品番であっても、サイズ違いによって製造量が異なる製品が増えています。製造量が異なると同ロットでの生産が出来ない為、製品単体では問題なくとも、ロット違いによる色・柄の異なる製品が出来上がります。

弊社ではできる限りお客様の「色・柄」合わせのご要望にお応えできるよう、最善を尽くしてまいりましたが、上記の理由により今までのようにご要望にお応えすることが困難となります。

つきましては、天然木製品の色・柄合わせについてカタログや別途ご案内書に明記しておりましたが、改めて再度ご連絡させていただきます。箱でまとめて買っていたいたとしても同様に注意が必要です。バラでのご注文時の「①サイズ違いの色・柄合わせ」や、「②同材質の別品番の色・柄合わせ」が特に困難となります（下記参照）。

お客様にはご迷惑をおかけいたしますが、事情をご理解いただき、実際にご使用される方へのご説明やご配慮も合わせてお願い申し上げます。今後とも弊社ブランド BIDOOR（ビドール）及び WATOMOS（ワトモス）をよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

特に色合わせが最も困難な事例

- ①バラ注文の場合 PW-08(モミジ丸)大 と 中
- ②バラ注文の場合 PW-08(モミジ丸)大 と MW-108(開用モミジ丸)大

以上

